

補助金		平成 26年度実績に関する事務事業評価表										
1 基本項目	事務事業名	土地改良事業					担当部署	課名	農林水産課			
	予算事業名	土地改良事業						係名	農林整備係			
	事業区分	自治事務						電話番号	0765-23-1036			
	事業期間	開始年度	市制制定前		終了年度	当面継続		予会計	一般会計			
	総合計画	目標名	基本目標 1 にぎわい、活力あるまち					算科目	款	農林水産業費		
		政策名	3 地域の特性を活かした農林水産業の振興						項	農業土木費		
		施策名	4 農業の振興						目	農業土木総務費		
基本事業名	4-1 農業生産基盤の整備強化					アウトソーシング導入状況			導入予定なし			
根拠法令						総合計画等への記載			総合計画に主要事業として記載			
2 事業概要	事業概要	土地改良事業費は国、県、市及び受益者がそれぞれの割合で負担するが、市の負担分について団体営事業に対しては補助金として、県営事業に対しては負担金としてそれぞれに支払うものである。										
	対象	土地改良事業受益者										
	手段 (活動指標)	団体営事業については5件の補助、県営事業については8件の負担を行う。										
	意図 (成果指標)	市の割合分を負担することによって土地改良事業が円滑に遂行され、農業用施設が整備されることによって農村が活性化される。										
3 指標	指標名		単位	25年度		26年度			27年度			
				計画	実績	計画	実績	達成率	計画			
	① 団体営への補助金	箇所	5	5	7	7	100.0%	8				
	② 国営・県営事業の負担金	箇所	5	6	6	5	83.3%	7				
	③											
	① 補助対象箇所/必要補助対象箇所	%	100	100	100	100	100.0%	100				
	②											
③												
4 コスト情報	区 分		単位	25年度		26年度			27年度			
				予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額			
	支出内訳	①需用費	円									
		②委託料	円									
		③工事請負費	円									
		④負担金補助及び交付金	円	40,385,000	31,506,654	65,475,000	52,952,290	68.1%	115,370,000			
		⑤その他	円	15,000	15,000	15,000			15,000			
		支出合計 (A)	円	40,400,000	31,521,654	65,490,000	52,952,290	68.0%	115,385,000			
	財源内訳	①国庫支出金	円									
		②県支出金	円									
		③地方債	円			7,600,000	9,000,000		29,200,000			
		④その他 (使用料、雑入等)	円									
		⑤一般財源	円	40,400,000	31,521,654	57,890,000	43,952,290	39.4%	86,185,000			
		収入合計	円	40,400,000	31,521,654	65,490,000	52,952,290	68.0%	115,385,000			
	人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	1	1	1	2	100.0%	2			
		②年間所要時間	時間	300	300	300	400	33.3%	400			
		③人件費 (②×@ 4,200 円) (B)	円	1,260,000	1,260,000	1,260,000	1,680,000	33.3%	1,680,000			
		総費用 (A+B)	円	41,660,000	32,781,654	66,750,000	54,632,290	66.7%	117,065,000			
5 取組内容	平成26年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容											
	団体営事業											
	①土地改良区施工分の補助金の交付 3件											
	②直営施工分の補助金の交付 2件											
国営・県営事業の負担金の支払い 5件												
6 評価	評価の視点	H25評価	H26評価	評価項目	評価結果	評価の理由						
	妥当性	A	A	自治体関与の妥当性	1 妥当である	魚津市の農業施設改修のための補助金、負担金であり、妥当である。						
				目的の妥当性	1 妥当である	魚津市の農業施設改修のための補助金、負担金であり、妥当である。						
				対象の妥当性	1 妥当である	魚津市の農業施設改修のための補助金、負担金であり、妥当である。						
	有効性	B	A	目標達成度	1 高い	農業用施設が整備されることによって農村が活性化される。						
				類似事業の有無	1 なし	類似事業はない						
				上位施策への貢献度	1 高い	農業用施設が整備され、農村が活性化に貢献度は高い。						
	効率性	B	A	コスト効率	1 高い	魚津市の農業施設改修のための補助金、負担金であり、妥当である。						
				実施主体の適正化	1 適正である	魚津市の農業施設改修のための補助金、負担金であり、妥当である。						
				負担割合の適正化	1 適正である	魚津市の農業施設改修のための補助金、負担金であり、妥当である。						
1次評価 (課長総括)	B	A	現行どおり補助することが適当		2次評価	不要						
後(課題及び方針)の評価結果	地元等の要望及び市要望による事業であり、かつ必要性の高い事業である。また、事業負担割合についても適切であると考ええる。				評価結果							

補助金		平成 26年度実績に関する事務事業評価表												
1 基本項目	事務事業名		耕作放棄地復元事業					担当部署	課名		農林水産課			
	予算事業名		耕作放棄地復元事業						係名		農政振興係			
	事業区分		自治事務						電話番号		0765-23-1034			
	事業期間		開始年度		平成20年度		終了年度		当面継続					
	総合計画	目標名		基本目標 1 にぎわい、活力あるまち					予算科目	予会計		一般会計		
		政策名		3 地域の特性を活かした農林水産業の振興						款		農林水産業費		
		施策名		4 農業の振興						項		農業費		
		基本事業名		4-1 農業生産基盤の整備強化						目		農業振興費		
根拠法令							アウトソーシング導入状況			導入予定なし				
							総合計画等への記載			総合計画実施計画に記載				
2 事業概要	事業概要		農業生産の基盤である農地の確保及びその有効利用を図る ・耕作放棄地の把握 ・耕作放棄地の復元と有効利用											
	対象		耕作放棄地											
	手段 (活動指標)		補助事業による復元											
	意図 (成果指標)		耕作放棄地の解消 復元田の利活用											
3 指標	指標名		単位	25年度		26年度			27年度					
				計画	実績	計画	実績	達成率	計画					
	活動指標	① 耕作放棄地の復元農地		a	10	10	30	0	0.0%	30				
		②												
		③												
	成果指標	① 耕作放棄地の営農再開農地		a	10	10	30	0	0.0%	30				
		②												
		③												
4 コスト情報	区分		単位	25年度		26年度			27年度					
				予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額					
	支出内訳	①需用費		円										
		②委託料		円										
		③工事請負費		円										
		④負担金補助及び交付金		円	250,000	150,000	250,000			250,000				
		⑤その他		円										
	財源内訳	支出合計 (A)		円	250,000	150,000	250,000	0	-100.0%	250,000				
		①国庫支出金		円										
		②県支出金		円	125,000	75,000	125,000			125,000				
		③地方債		円										
		④その他 (使用料、雑入等)		円										
	人件費	⑤一般財源		円	125,000	75,000	125,000			125,000				
		収入合計		円	250,000	150,000	250,000	0	-100.0%	250,000				
		①事務事業に携わる正規職員数		人	2	2	2	1	-50.0%	1				
	総費用 (A+B)	②年間所要時間		時間	400	400	400	100	-75.0%	100				
		③人件費 (②×@ 4,200 円) (B)		円	1,680,000	1,680,000	1,680,000	420,000	-75.0%	420,000				
				円	1,930,000	1,830,000	1,930,000	420,000	-77.0%	670,000				
5 取組内容	平成26年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容													
	耕作放棄地の補助事業による復元と営農再開													
6 評価	評価の視点	H25評価	H26評価	評価項目	評価結果		評価の理由							
	妥当性	A	A	自治体関与の妥当性	1 妥当である									
				目的の妥当性	1 妥当である									
				対象の妥当性	1 妥当である									
	有効性	A	B	目標達成度	3 低い・未実施									
				類似事業の有無	1 なし									
				上位施策への貢献度	1 高い									
	効率性	B	A	コスト効率	1 高い									
				実施主体の適正化	1 適正である									
				負担割合の適正化	1 適正である									
1次評価 (課長総括)		A	A	現行どおり補助することが適当			2次評価	不要						
後の評価 方針及び 結果	耕作放棄地の復元、その後の適正管理は、生産基盤を確保するというだけではなく、景観の保全、鳥獣被害対策など多岐にわたる効果が期待される。				評価結果									

ハード事業		平成 26年度実績に関する事務事業評価表											
1 基本項目	事業名	県単独農業農村整備事業					担当 部署	課名	農林水産課				
	予算事業名	県単独農業農村整備事業						係名	農林整備係				
	事業区分	自治事務						電話番号	0765-23-1037				
	事業期間	開始年度	平成元年以前	終了年度	当面継続			予 会 計	一般会計				
	総合 計画	目標名	基本目標 1 にぎわい、活力あるまち					算 科 目	款	6. 農林水産業費			
		政策名	3 地域の特性を活かした農林水産業の振興						項	2. 農業土木費			
		施策名	4 農業の振興						目	2. 農地費			
	基本事業名	4-1 農業生産基盤の整備強化					アウトソーシング導入状況		導入予定なし				
	根拠法令						総合計画等への記載		総合計画に主要事業として記載				
2 事業概要	事業概要	国庫補助事業の採択基準に適合しない小規模な土地改良施設の改修・修繕及整備を行い、用水路の通年通水の確保、排水施設の正常な機能の維持と環境保全を目的としている。											
	対象	土地改良施設											
	手段 (活動指標)	各地区からの改修等に関する要望を受け、当事業の要件を満たす場合に県へ採択要望を行い、採択後に工事を実施する。											
	意図 (成果指標)	水路が改修されることにより、圃場に安定した水量を供給でき、維持管理も軽減される。											
3 指標	活動指標 成果指標	指標名	単位	25年度		26年度			27年度				
				計画	実績	計画	実績	達成率	計画				
		① 水路改修	件	2	3	2	3	150.0%					
		②											
		③											
		① 改修実施率	%	100	100	100	100	100.0%					
		②											
③													
4 コスト情報	支出内 訳	区分	単位	25年度		26年度			27年度				
				予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額				
		①需用費	円	146,000	55,361	131,000	81,789	47.7%					
		②委託料	円										
		③工事請負費	円	2,535,000	2,415,000	13,380,000	10,999,520	355.5%					
		④負担金補助及び交付金	円										
	財源内 訳	⑤その他	円										
		支出合計 (A)	円	2,681,000	2,470,361	13,511,000	11,081,309	348.6%					
		①国庫支出金	円										
		②県支出金	円	1,081,000	1,081,000	6,312,000	4,312,000	298.9%					
		③地方債	円										
		④その他 (使用料、雑入等)	円	216,000	214,000			-100.0%					
	人件費	⑤一般財源	円	1,384,000	1,175,361	7,199,000	6,769,309	475.9%					
		収入合計	円	2,681,000	2,470,361	13,511,000	11,081,309	348.6%					
		①事務事業に携わる正規職員数	人	5	5	5	2	-60.0%					
		②年間所要時間	時間	1,080	1,080	1,080	300	-72.2%					
		③人件費 (②×@ 4,200 円) (B)	円	4,536,000	4,536,000	4,536,000	1,260,000	-72.2%					
		総費用 (A+B)	円	7,217,000	7,006,361	18,047,000	12,341,309	76.1%					
5 取組内容	平成26年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容												
	平成26年度は、3箇所について水路の改修工事を実施した。平成26年7月豪雨により、多くの被災箇所が出たが、農業生産の妨げとならないよう発注に努めた。												
6 評価	評価の視点	H25評価	H26評価	評価項目		評価結果		評価の理由					
	妥 当 性	A	A	自治体関与の妥当性	1 妥当である								
				目的の妥当性	1 妥当である								
				対象の妥当性	1 妥当である								
	有 効 性	C	C	目標達成度	2 目標どおり								
				類似事業の有無	3 あり								
				上位施策への貢献度	1 高い								
	効 率 性	A	A	コスト効率	2 普通								
				実施主体の適正化	1 適正である								
				負担割合の適正化	1 適正である								
1次評価 (課長総括)	B	B	事業の進め方・内容について改善の余地あり		2次評価	不要							
後の 評価 結果 (課題及び今後の方針)	営農に必要な農業用施設の改修の要望が多い。農地の保全や安定した営農活動維持のためにも緊急性、必要性を勘案しながら引き続き事業を実施する必要がある。				評価結果								

ハード事業		平成 26年度実績に関する事務事業評価表									
1 基本項目	事業名	農業基盤整備促進事業				担当部署	課名	農林水産課			
	予算事業名	農業基盤整備促進事業					係名	農林整備係			
	事業区分	自治事務					電話番号	0765-23-1037			
	事業期間	開始年度	平成24年度	終了年度	当面継続		予会	一般会計			
	総合計画	目標名	基本目標 1 にぎわい、活力あるまち				款	6. 農林水産業費			
		政策名	3 地域の特性を活かした農林水産業の振興				項	2. 農業土木費			
		施策名	4 農業の振興				目	2. 農地費			
	基本事業名	4-1 農業生産基盤の整備強化				アウトソーシング導入状況		導入予定なし			
	根拠法令					総合計画等への記載		総合計画に主要事業として記載			
2 事業概要	事業概要	農業の競争力強化をするために、農家の直営施工による畦畔除去の区画拡大化や暗渠排水等の農地整備及び田畑地のかんがい施設等の基盤整備により、農地集積・集約化や農業の高付加価値化を図る。									
	対象	土地改良施設及び農地（田畑）									
	手段（活動指標）	各地区から改修等に関する要望を受け、当事業の要件を満たす場合に国へ採択要望を行い、採択後に工事を実施する。									
	意図（成果指標）	区画拡大や機械の大型化により、生産性の向上及び経営の安定化を図る。また、水路が改修されることにより、圃場に安定した水量を供給でき、維持管理も軽減される。									
3 指標	指標名		単位	25年度		26年度			27年度		
				計画	実績	計画	実績	達成率	計画		
	活動指標	① 水路改修	件	9	9	9			1		
		②									
		③									
	成果指標	① 改修実施率	%	100	100	100			100		
		②									
	③										
4 コスト情報	区 分		単位	25年度		26年度			27年度		
				予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額		
	支出内訳	①需用費	円	319,100	94,037	130,000		-100.0%	129,000		
		②委託料	円								
		③工事請負費	円	30,930,900	30,930,900	20,400,000		-100.0%	3,000,000		
		④負担金補助及び交付金	円								
		⑤その他	円								
	財源内訳	支出合計（A）	円	31,250,000	31,024,937	20,530,000		-100.0%	3,129,000		
		①国庫支出金	円	15,825,000	15,825,000	10,820,000		-100.0%	1,500,000		
		②県支出金	円								
		③地方債	円			6,600,000					
		④その他（使用料、雑入等）	円	3,701,281	3,701,281	2,193,000		-100.0%	390,000		
	収入合計	円	11,723,719	11,498,656	917,000		-100.0%	1,239,000			
		収入合計	円	31,250,000	31,024,937	20,530,000		-100.0%	3,129,000		
	人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	5	5	5	2	-60.0%	2		
		②年間所要時間	時間	1,120	1,120	1,120	300	-73.2%	300		
		③人件費（②×@ 4,200 円）（B）	円	4,704,000	4,704,000	4,704,000	1,260,000	-73.2%	1,260,000		
	総 費 用（A+B）		円	35,954,000	35,728,937	25,234,000	1,260,000	-96.5%	4,389,000		
5 取組内容	平成26年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容										
	平成26年度は、9箇所について水路の改修工事を計画していたが、7月豪雨により多くの被災箇所が出たため、事業を平成27年度に繰越した。										
6 評価	評価の視点	H25評価	H26評価	評価項目		評価結果		評価の理由			
	妥 当 性	A	A	自治体関与の妥当性	1 妥当である						
				目的の妥当性	1 妥当である						
				対象の妥当性	1 妥当である						
	有 効 性	C	C	目標達成度	3 低い・未実施						
				類似事業の有無	3 あり						
				上位施策への貢献度	1 高い						
	効 率 性	A	A	コスト効率	2 普通						
				実施主体の適正化	1 適正である						
				負担割合の適正化	1 適正である						
1次評価（課長総括）	B	B	事業の進め方・内容について改善の余地あり		2次評価	不要					
後の評価（課題及び今後の方針）	営農に必要な農業用施設の改修の要望が多い。農地の保全や安定した営農活動維持のためにも緊急性、必要性を勘案しながら引き続き事業を実施する必要がある。				評価結果						

1 基本項目	事務事業名				市単独土地改良事業	担当 部署 予 算 科 目	課名	農林水産課				
	予算事業名				市単独土地改良事業		係名	農林整備係				
	事業区分				自治事務		電話番号	0765-23-1037				
	事業期間				開始年度		平成元年以前	終了年度	当面継続	予 算 計	一般会計	
	総合計画	目標名					基本目標 1 にぎわい、活力あるまち				款	農林水産業費
		政策名					3 地域の特性を活かした農林水産業の振興				項	農業土木費
		施策名					4 農業の振興				目	農地費
		基本事業名					4-1 農業生産基盤の整備強化				アウトソーシング導入状況	
	根拠法令								総合計画等への記載		総合計画実施計画に記載	

2 事業概要	事業概要	改修が必要な農業用施設（道路、水路）					
	対象	改修が必要な水路・ため池、農作業に必要な農道、転落の危険がある水路					
	手段 (活動指標)	水路改修 5 件、農道改修 1 件実施					
	意図 (成果指標)	老朽化している水路等を改修し、維持管理の軽減を図る。					

3 指標	指標名		単位	25年度		26年度			27年度
				計画	実績	計画	実績	達成率	計画
	活動指標	① 要望件数	件	10	10	10	10	100.0%	10
	成果指標	②							
		③							
		① 実施件数	件	7	3	5	6	120.0%	5
		②							
		③							

4 コスト情報	区分		単位	25年度		26年度			27年度
				予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
	支出内訳	①需用費	円	188,000	26,400	168,000	344,759	1205.9%	164,000
		②委託料	円						
		③工事請負費	円	2,000,000	1,596,000	2,000,000	1,477,224	-7.4%	2,000,000
		④負担金補助及び交付金	円						
		⑤その他	円	227,000	226,800	234,000		-100.0%	234,000
	支出合計（A）		円	2,415,000	1,849,200	2,402,000	1,821,983	-1.5%	2,398,000
	財源内訳	①国庫支出金	円						
		②県支出金	円						
		③地方債	円						
		④その他（使用料、雑入等）	円	610,000	462,000	700,000	517,028	11.9%	700,000
		⑤一般財源	円	1,805,000	1,387,200	1,702,000	1,304,955	-5.9%	1,698,000
	収入合計		円	2,415,000	1,849,200	2,402,000	1,821,983	-1.5%	2,398,000
	人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	5	5	5	2	-60.0%	5
		②年間所要時間	時間	980	980	980	300	-69.4%	980
		③人件費（②×@ 4,200 円）（B）	円	4,116,000	4,116,000	4,116,000	1,260,000	-69.4%	4,116,000
	総費用（A+B）		円	6,531,000	5,965,200	6,518,000	3,081,983	-48.3%	6,514,000

5 取組内容	平成26年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容							
	水路改修 5 件、道路改修 1 件実施							

6 評価	評価の視点		H25評価	H26評価	評価項目	評価結果		評価の理由		
	妥 当 性	A	A	自治体関与の妥当性	1 妥当である					
				目的の妥当性	1 妥当である					
				対象の妥当性	1 妥当である					
	有 効 性	B	B	目標達成度	2 目標どおり					
				類似事業の有無	3 あり					
				上位施策への貢献度	1 高い					
	効 率 性	B	B	コスト効率	1 高い					
				実施主体の適正化	1 適正である					
				負担割合の適正化	1 適正である					
	1次評価 (課長総括)		B	B	事業の進め方・内容について改善の余地あり		2次評価	不要		
	後の 評価 結果 (課題及び今後の方針)		県単独農業農村整備事業などの補助事業の対象とならない小規模な改良事業であり、農業基盤の整備と地域の安全確保のため必要な事業である。				評価結果			